

みどうの杜俳句会

商談の客人多し夏至の夜

佐山けさ子

どうだんつつじ刈り込み揃ふみどりかな

高橋 きみ

プランターにかたばみ咲きて日の強し

鈴木 啓子

西空に雷雲暗し帰路急ぐ

吉田 愛子

石垣に莖伸び下がり松葉菊

高橋 ツ子

足跡の残り棚田の植ゑ直し

馬場 芳

夜明より燕出入りや軒の端

山崎 才子

立ち葵ピンク今年は小振りかな

飯野 トヨ

夏の夜や網戸に猫の顔寄する

関口 真吾

草刈の音にせきれい飛び立てり

小宮 勉

鉢植えの紫濃かりクレマチス

野口利江子

石垣の穴に蜥蜴や里の道

関口 侑子

ランドセル試す子よろけ梅雨晴れ間

大竹 祐也

我が窓へ夏燕来てひるがへる

岩崎 真人

姿なく鳴き声響く牛蛙

岡部富美子

葉より葉へ羽黒蜻蛉の止りけり

土屋 厚子

指先に揉むほど香りよもぎの葉

千野さき子

山神の参道砂利に梅雨茸

初雁 功子

梅雨止み間キャッチボールの転が来る

金子 圭輔

透明傘支柱に結ひてミニトマト

山田 美子

白石短歌会

うぐひすが近く寄りきて鳴いてくれる

渡邊美枝子

後半に入り桔梗の花咲く

坂本 美江

裏山に山鳩の鳴く夕まぐれ

白石 礼子

杖つく耳元にうぐいすの声

好まざる戴草の名前と臭い

されど群れ咲く白花いと

渡邊阿里子

好まざる戴草の名前と臭い

されど群れ咲く白花いと

好まざる戴草の名前と臭い

されど群れ咲く白花いと

好まざる戴草の名前と臭い

されど群れ咲く白花いと

好まざる戴草の名前と臭い

されど群れ咲く白花いと

好まざる戴草の名前と臭い

されど群れ咲く白花いと



人権シリーズ

370

『今改めて大切なこと』

私の仕事は大工です。私は、日頃仕事を進めていく中で、大切にしていることがあります。

それは、「あいさつ」です。新しい仕事のたびに、新しい人との出会いがあります。「今度はどうな人の家を作るのかな。」と思い、少しの不安も抱きながらお客様のものに行きます。

しかし、初めて出会ったお客様に、「こんにちは、お世話になります。」と、笑顔であいさつされると、不安もすつとなくなり、この人が「この家にして良かった。」と喜んでもらえる家を作ろうと思えるのです。

人と人との関係は、相互作用です。明るく、笑顔であいさつされることで、私自身が救われることが多くあります。そして、もう一つ大切にしていることは、お客様と相談していく中で、「このお客様にとって最も住みやすい家はどうなのか」と考えながら、「自分だったらどうしてほしいかな」と相手の立場になって考えることを意識しています。自分とお客様を置き換え、お客様の立場になり考えることができれば、本当にお客様が「この家にして良かった。」と思える家にはなりません。

今、改めて大切と思うこと。それは、未知のウイルスと向き合い、当たり前だった生活が当たり前ではなくなり、不安も大きい現状の中で様々な立場の人がいます。こんな時だからこそ、誰に対しても明るく、元気にあいさつする。そして、相手の立場になって考え、行動し発言することが、求められているのではないかと考えます。

東秩父村社会教育委員 関根 正明